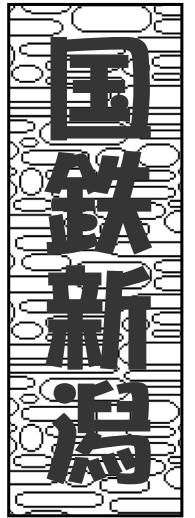


私からあなたに あなたからあのひとへ



かけがえのない私達の故郷 妙高と信越本線をみんなで守ろう!

五月二十五日(日) 妙高と信越線を考
える会の設立総会が、妙高高原ふれあい
会館二階大広間で十八時より開催されま
した。
国鉄新潟の637号で紹介しました並
行在来線の問題で地域に大きな運動が展
開されています。今号では設立総会の趣
意書が地方本部に届きましたので紹介し
ます。

趣意書

私達の足としての信越本線は、新
潟県の中で最も古い、一八八六年八
月に直江津〜関山の開通に始まりま
した。それ以来百二十年の長きにわ
たり関東・中京・関西と人的、物流
の中心となり地域の発展と文化の興
隆に寄与してきました。その信越
本線が重大な岐路に立たされていま
す。



NO. 639
発行
2008・7月20日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
守橋久仁雄
編集責任者
教宣部

二〇一四年度末新幹線が 金沢まで延長運転

二〇一四年度末に北陸新幹線が長
野から金沢まで延長運転されること
になっています。それは新幹線を建
設するにあたりその条件として在来
線である新幹線と並行でも何でもな
いのには、並行在来線としてJRから
経営分離されて第三セクターに経営
移譲される予定になっているからで
す。

新幹線が延長されることにより東
京・大阪などが近くなり便利になる
といった期待とともに三セク後、信
越線の存続や地域経済に与える影響
地域イメージにマイナスになるの
ではないか、といった不安が交錯し
ています。



沿線住民の皆さん! 多くの信越本線を愛する皆さん!

私達の何としても信越本線を『地域の足、地
域づくりの要』にしていくというこの思いに賛
同し、一緒にこの運動に参加していただけたら
と思うとともに周りの人たちにもこの思いを、
お伝えすることを願ってやみません。多くの賛
同者の皆さんの声を背景に、行政にただ頼るだ
けでなく自ら全体にもものとして運動を進めます。

現在、各地の運動の反映により、九州新幹線
長崎ルートと並行在来線は、JRが直接運行す
ることが決まり、長野・新潟両県知事の会談、
12道府県知事の要請など政府、与党合意の見
直しを求める声が強まっています。

今後、私達の運動いかにによっては、新たな
展望を開くことが出来る、といえます。

以上の考えから、私達はここに『妙高と信越
本線を考える会』を結成し、今後沿線住民やあ
らゆる人たちと固く手を結んで、幅広い運動を
展開していくものです。



廃線に 追い込まれる

経営分離された先行例では経営状
態が厳しく、運賃を大幅値上げした
り、自治体財政を圧迫した上に廃線
に追い込まれた例もあります。
また新幹線が、ただ通過するだけ
の地域では今まで駅前だった地域が
シャッター通りになってしまい、こ

それは、
★今後経営の主体となる『県』
が最後まで責任を持って経営
に参加するか
★経営の見直し、県民・市民
の負担はどうか
★一地域の鉄道会社がJRで
も経営できない鉄道を運営し
ていけるか
などなど解明しなければならぬ
疑問が残ります。

んなはずではなかった!と悔やむ声
も大きくなっているところも多くあ
ります。
私達は新幹線そのものについて反
対しているものではありません。そ
の地域の地理的条件や住民合意もな
しに一方的に進めるのではなく、車
社会の今日、鉄道の優位性をあきら
かにしつつ、その地域にあった鉄道
のありかたを創り上げていく必要が
あるのではないのでしょうか?
先行例の失敗例・成功例をつぶさ
に研究し、新幹線と共存できる信越
線にしていくため、立場を超えて多
くの人と国・県・JRにむけて私達
の思い、皆さんの願いを届け要請し
ていきたいと思えます。





2014年問題
地域は？ 鉄道は？

新幹線開業で直江津はようになるか



在来線(信越本線、北陸本線、ほくほく線)と

直江津のまちづくりを考える懇談会



日時 7月31日(木)19:00~20:30

会場 レインボーセンター1F多目的ホール

内容 <報告1>上越市第5次総合計画と公共交通を軸にしたまちづくり
上越市企画・地域振興部長 竹田 淳三氏

<報告2> 在来線問題の現状と課題
前上越市議会交通対策特別委員会副委員長 杉本 敏宏氏

討 論

参加費 無 料



多数の参加をお待ちしています。

主催 在来線と直江津のまちづくりを考える準備会

共催 在来線を守る三市連絡会

☎ 025-543-2461 (FAX共)

